2021年度
NPO法人 Safe Kids Japan
事 業 報 告 書

2021年度事業報告

1　子どもの事故予防に関する啓発活動

1）講座運営

・合同学習会「都市公園の遊具と子どもの安全」
・小学生向け安全授業：善通寺市の小学5年生対象

2）資料作成

・豆のシール「豆は6つになってから」
・「ホームセーフティチャレンジ」
・Safe Kids ニュース

3）講演、講座等

・ウェブサイトにおける記事の連載等
・学会、研修会、講演会等における講演活動

4）シンポジウムの運営

「これで防げる　学校体育・スポーツ事故～体育館に関わる事故から子どもを守る～」開催

5）取材協力

2　子どもの事故予防に関する調査・分析

転落予防事業

3　その他目的を達成するために必要な事業

他機関との協働

子どもの事故予防に関する啓発活動
①講座運営：合同学習会「都市公園の遊具と子どもの安全」

子どもの安全研究グループ・Safe Kids Japan 合同学習会　vol.2

参加無料　**都市公園の遊具と子どもの安全**　vol. 2

遊具について学び考えるこの会、2回目の今回は私たちにとって身近な「都市公園」について考えます。 子ども・子育てに関わる多くの方のご参加をお待ちしています。

日時　2022年 2月26日（土）14:00～16:00　Zoom 200名

■ 申込フォームまたはQRコードからお申込み下さい。定員に達し次第締め切ります。

対象　子どもの安全に関心や責任を持つ人、子どもの傷害予防活動を行なっている人、教育・保育施設の教職員等

モデレーター：森山　哲（技術士・労働安全コンサルタント・子どもの安全グループ会員）

Ⅰ）　合同学習会開催にあたって
瀬戸　馨（技術士・日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ 会長）
技術士（建設、総合技術監理）。道路の安全、雲仙普賢岳災害対応などの経験を活かして、子どもの安全について調査研究している。

Ⅱ）「国庭とはけっこう違う！　公園の役割と課題」
松野　敬子（社会安全分野学術博士・保育園園長）
我が子を遊ばせている公園遊具の安全性に疑問を持ち調査を始めたのが1997年。2010年には市民レベルの活動に限界を感じ大学院に入学、900か所の京都市内全公園を徹底調査し2015年に博士号を頂きました。地域では、保育園と子育て支援拠点を運営しています。

Ⅲ）　事例検討
①バナナ型滑り台
鈴木　徹郎（子どもの安全研究所 代表・小児科医）
小児科・内科医師として勤務する傍ら、近隣の保育園や福祉施設などで子供の事故防止をテーマに講演をしている。
②ローラースライダー
原　眞一（技術士・子どもの安全研究グループ 会員）
技術士（応用理学、総合技術監理）として事象を分析的に捉え、工場生産設備の安全対策に携わった経験から子どもの安全を技術面から支援することを心掛けている。
リスクに何があるか十分に把握したうえでどこまで許容すべきか判断したい。

Ⅳ）　遊具の安全基準について
西田　佳史（ Safe Kids Japan 理事 ・東京工業大学工学院 教授 ）
日常生活における子どもの行動は、身近でありふれた現象であるにもかかわらず、これまで科学技術の対象として扱われてこなかった現象です。遊具安全の分野では、AI、IoT、ビッグデータなどを活用した新しい基準づくりが始まっています。

Ⅴ）　遊具による重大な傷害を予防するために
山中　龍宏（ Safe Kids Japan 理事長・小児科医）
子どもの傷害を予防するためには、変えられるものを見つけ、変えられるものを変えることが必要です。今回の学習会では、遊具による傷害が発生した場合、何をどのように変えて予防につなげるのか、という検証報告が行われます。
どうぞご期待ください。

共催：日本技術士会登録　子どもの安全研究グループ　／　NPO法人　Safe Kids Japan

2022年2月26日(土)開催

遊具による重大な傷害を予防するため、日本技術士会登録 子どもの安全研究グループと共催で開催している学習会。

今回は「都市公園の遊具」について学び考える会を開催する。

子どもの事故予防に関する啓発活動
①講座運営：小学生向け安全授業

「子ども安全ネットかがわ」と協働し、香川県善通寺市内のすべての小学校5年生を対象に実施している安全授業。傷害予防の考え方を学んだ小学生が、自身の学校の「あぶない！」を探して撮影、どうすれば大きなけがをしない環境にできるかを考え、発表する。

- みつけた「あぶない！」を発表する
- お友達の発表を聞いて，自分の気付かなかった「あぶない！」に気付く

子どもの事故予防に関する啓発活動
①講座運営：小学生向け安全授業

1回目の授業で使用している動画「ABCで考えよう」（動画）

子どもの事故予防に関する啓発活動
①講座運営：小学生向け安全授業

児童の見つけた危険箇所をイラスト化した「学校の危険地図」

子どもの事故予防に関する啓発活動
②啓発資料作成

節分の福豆に代表される「乾いた豆」による子どもの誤嚥や窒息などの重大な傷害を予防するため、日本ピーナッツ協会、子どもの事故予防地方議員連盟等と共に啓発活動に取り組んでいる。

消費者庁が「5歳以下の子どもには食べさせないで」というメッセージを出していることから、豆の包装袋に貼付してもらうことを目的に、「豆は6つになってから」と題するシールを作成した。

子どもの事故予防に関する啓発活動
②啓発資料作成

Safe Kids Worldwideが作成している資料の日本版を制作。傷害予防の基本である「変えられるものを見つけ、変えられるものを変える」を体験できる教材になっている。

子どもの事故予防に関する啓発活動
②啓発資料作成

流されたサンダルを取りに行こうとして小学生が川で溺れ、その子どもを救助しようとした男性も溺れて共に亡くなった事故を受け、地方議員、水難事故予防の専門家、靴教育の専門家らと協働で動画を制作。「Safe Kids ニュース」として位置づけた。

子どもの事故予防に関する啓発活動
②啓発資料作成

「Safe Kids ニュース」のシリーズ。節分を前に、なぜ乾いた豆による誤嚥・窒息が起こるのか、を子どもにもわかりやすく解説し、公開した。

子どもの事故予防に関する啓発活動
③講座・講演・ウェブサイト上の発信

YAHOO! JAPAN ニュース　IDでもっと便利に新規取得　ログイン　365日いつでもお得　24時間タイムセール

キーワードを入力

トップ　速報　ライブ　個人　オリジナル　みんなの意見　ランキング

新着記事　オーサー一覧　コメンテーター一覧

SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

子どもの傷害予防に取り組む

～ 変えられるものを見つけ、変えられるものを変える ～

山中龍宏

山中龍宏
小児科医／NPO法人 Safe Kids Japan 理事長
認証済みバッジについて

safekidsjapan2016

関連リンク（外部サイト）
公式サイト

1974年東京大学医学部卒業。1987年同大学医学部小児科講師。1989年焼津市立総合病院小児科科長。1995年こどもの城小児保健部長を経て、1999年緑園こどもクリニック（横浜市泉区）院長。1985年、プールの排水口に吸い込まれた中学２年生女児を看取ったことから事故予防に取り組み始めた。現在、産業技術総合研究所人工知能研究センター外来研究員、NPO法人Safe Kids Japan理事長、内閣府教育・保育施設等における重大事故防止策を考える有識者会議委員、国民生活センター商品テスト分析・評価委員会委員、日本スポーツ振興センター学校災害防止調査研究委員会委員、日本学術会議特任連携会員。

記事　107　コメント　8

yomiDr. ヨミドクター

Transtream LLC
英語に聞こえない英語もあり

コラム　ニュース・解説　病気を調べる　病院別治療実績　医療相談室　くらし

ホーム ＞ 医療・健康・介護のコラム ＞ 山中龍宏「子どもを守る」

医療・健康・介護のコラム

山中龍宏「子どもを守る」

子どもは成長するにつれ、事故に遭う危険も増します。誤飲や転倒、水難などを未然に防ぐには、過去の事例から学ぶことが効果的です。小さな命を守るために、大人は何をすればいいのか。子どもの事故防止の第一人者、小児科医の山中龍宏さんとともに考えましょう。

4月19日
６か月女児が電源コードをくわえて…感電によるやけど　内臓損傷や致命傷に至ることも
山中龍宏「子どもを守る」

子どもの事故予防に関する啓発活動
④シンポジウムの運営

2022年3月26日(土)開催

主に学校管理下で発生する重大な傷害を予防するため、弁護士のグループや学校教員等と共催で開催しているシンポジウム。

今回は「体育館の施設や設備による重大な傷害」について調査、傷害予防策について具体的な提言を行う。

子どもの事故予防に関する啓発活動
⑤取材対応

2021年度、Safe Kids Japanには40件、山中理事長には35件の取材依頼があった。

子どものベランダ転落事故防止 専門家グループが実証実験 京都

2021年11月4日 20時57分

NHK　2021/11/4

朝日新聞 withnews　2022/2/3

日経アーキテクチュア 2022/2/24

子どもの事故予防に関する調査・分析

ベランダ等高所からの転落を予防するため、三菱財団の助成を受けて行っている活動。既存のベランダ柵に後付けできる部品を開発し、実際に登れるかどうか、保育園児のべ約200人に協力してもらい、実験を行った。実験の様子はNHKで報道され、大きな反響があった。
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211104/k10013335031000.html

子どもの事故予防に関する調査・分析

SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

「つかめない」「登れない」「落ちない」

ベランダの柵を考えるプロジェクト

ベランダ等高所からの子どもの転落を予防する
ー研究者、事業者、保護者と共に目指す安全な町、安全な建物ー

ベランダからの子どもの転落は、保護者の皆さんの意識や行動だけで予防することは困難です。

子どもがベランダ等の高所から転落し、重大な傷害を負うケースが相次いでいます。東京都の報告によると、2007年4月から2017年3月の間に、ベランダからの転落により救急搬送された、または受診した12歳以下の事例は145件で、そのうち入院を要する事例は全体の7割以上あり、死亡に至った事例も2件ありました。

今までベランダからの転落の予防策は、「見守り」や「目を離さないようにする」といった保護者の意識・行動に依存したものが主なものでしたが、その予防効果は低く、転落事故が多発しています。また、ベランダの構造や柵のデザインが多様化・複雑化してきていることなどから、この事業では環境改善による予防策を検討することにしました。

子どもが柵を乗り越えにくくする実験①

実験

- 高さ120cm～140cmに設定された実験機を乗り越えられるか実験を行いました。
- ひとつの条件につき、乗り越えられるかどうかの制限時間は30秒としました。
- 子ども達は裸足で実験を行いました。

高さを変えた実験

実験①で使用した実験機

制限時間は30秒

京都府長岡京市 さくらんぼ保育での実験

裸足で実験

神奈川県横浜市 緑園なえば保育園での実験

3歳児クラス、4歳児クラスの条件

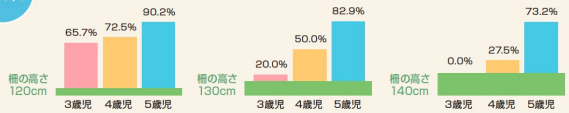
3歳児クラス、4歳児クラスの子どもは120㎝から始め、その条件を乗り越えられた子どもは、さらに高い条件で乗り越えられるかどうかを確認しました。

5歳児クラスの条件

5歳児クラスでは、一番高い140㎝の設定から開始し、140㎝を乗り越えられなかった子どもには、より低い条件で乗り越えられるかどうかを確認しました。

結果

クラス別に柵の高さの設定を変えて登り越えられた実験数値をグラフにまとめました。



3歳児クラス、4歳児クラスの結果

3歳児クラス、4歳児クラスの子どもでは、柵の高さを高くして登りにくくする対策の効果がある程度確認されました。

5歳児クラスの結果

5歳児クラスの場合には、柵の高さを140㎝にしても、京都府長岡京市　さくらんぼ保育園では乗り越えにくくする効果はほぼ見られないことがわかりました。

クラスごとの実験参加人数：3歳児クラス 35名　4歳児クラス 40名　5歳児クラス 41名

SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

子どもの事故予防に関する国際連携

SAFE KIDS WORLDWIDE PREVCON AIST SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

Empowering Reality

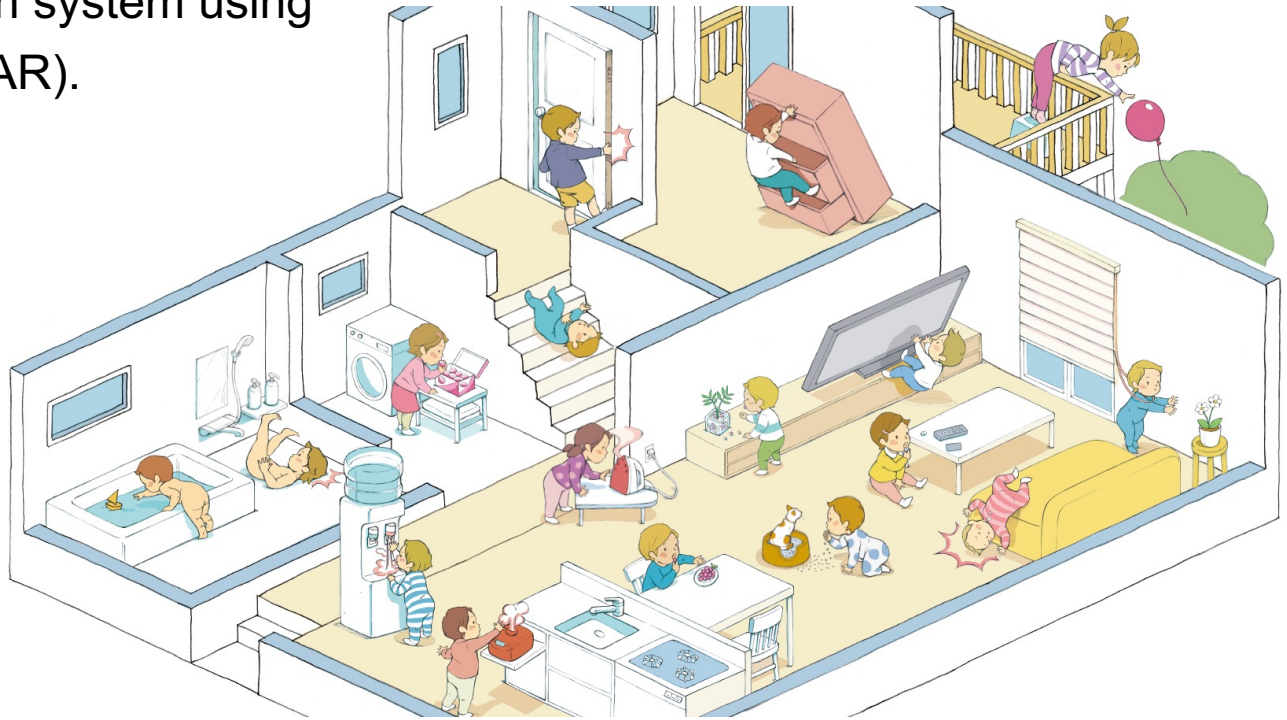
A new online education system for parents

Mikiko Oono[1,2], Thassu Srinivasan Shreesh Babu[3], Yoshifumi Nishida[3.2], Tatsuhiro Yamanaka[4,2]

1. National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
2. Safe Kids Japan
3. Tokyo Institute of Technology
4. Ryokuen Children's Clinic

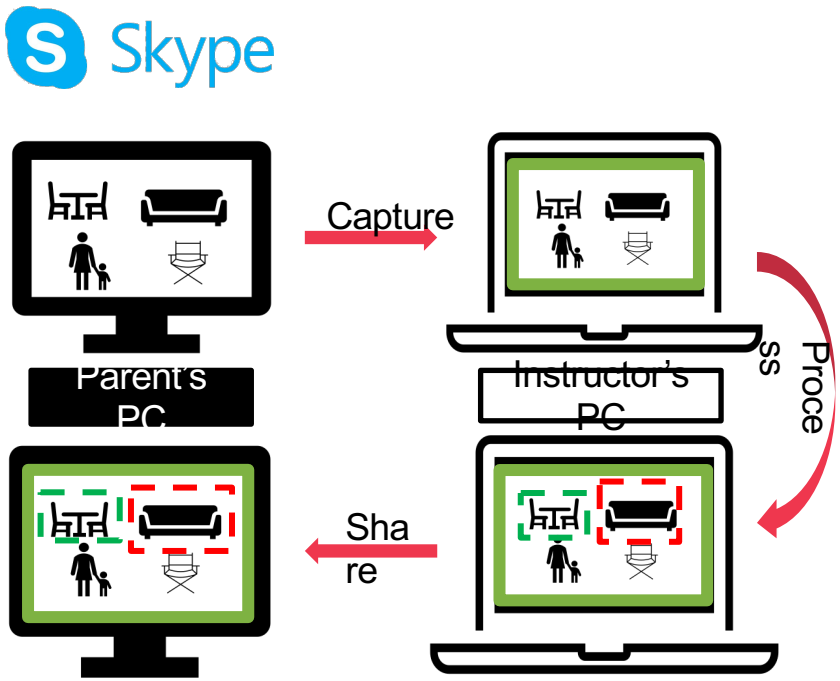
What is Empowering Reality (ER)

- Technology that helps bring out parents and caregivers' abilities to take preventive actions.
- New online education system using Augmented Reality (AR).



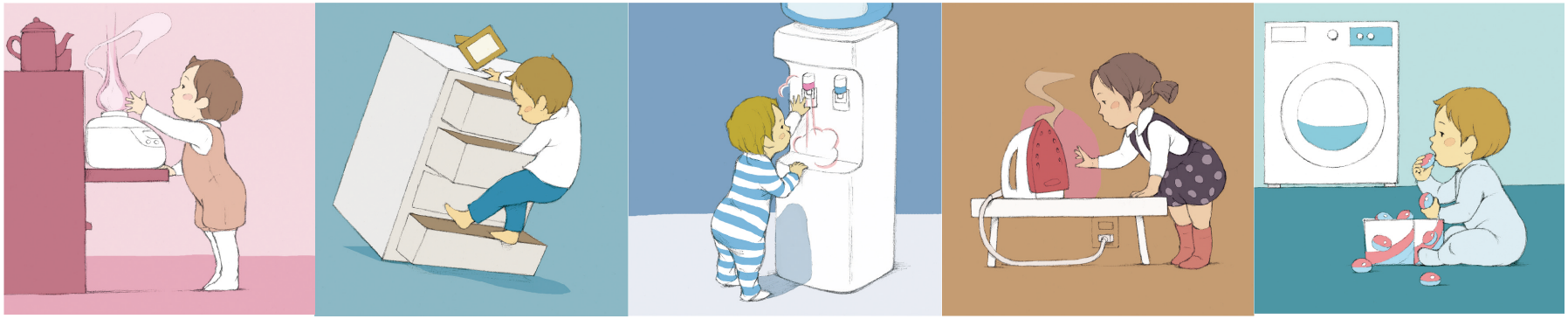
Methods

1. Access the provided URL
2. Take a mini lecture (about 15 minutes)
3. Shoot video of participants' living space



Future work for ER system

- Will improve our system based on comments and feedbacks
- Offer empowering education classes regularly
- Look for business partnerships to disseminate the system



その他目的を達成するために必要な事業
国内連携活動ー業界団体との協働（日本ピーナッツ協会）

SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

2020 年 4 月吉日

一般社団法人　日本ピーナッツ協会　　御中

「豆類」の包装袋に乳幼児の誤嚥に関する注意喚起表示を配することについて（要望）

NPO 法人 Safe Kids Japan
理事長　山中 龍宏（小児科医）
子どもの事故予防地方議員連盟
会長　佐藤あつし（東京都墨田区議会議員）

日ごろより子ども達の事故予防活動に積極的に取り組んでおられることに対し、感謝と敬意を表します。私たち NPO 法人 Safe Kids Japan と子どもの事故予防地方議員連盟は、子どもの事故による傷害（けが）の予防を目的として、協働して活動しております。

さて、すでにご承知のとおり、本年２月３日、島根県松江市内の保育施設において「節分」の行事として豆まきをした際、その豆を口に入れた 4 歳園児の喉に豆が詰まり、当該園児が窒息して死亡するという事故が発生しました。伝統的な行事の最中にこのような重大な事故が発生し、未来ある園児が死亡したことは大きな損失であり、同じような事故が二度と起きないよう、社会全体で予防活動を進めていく必要があると考えます。

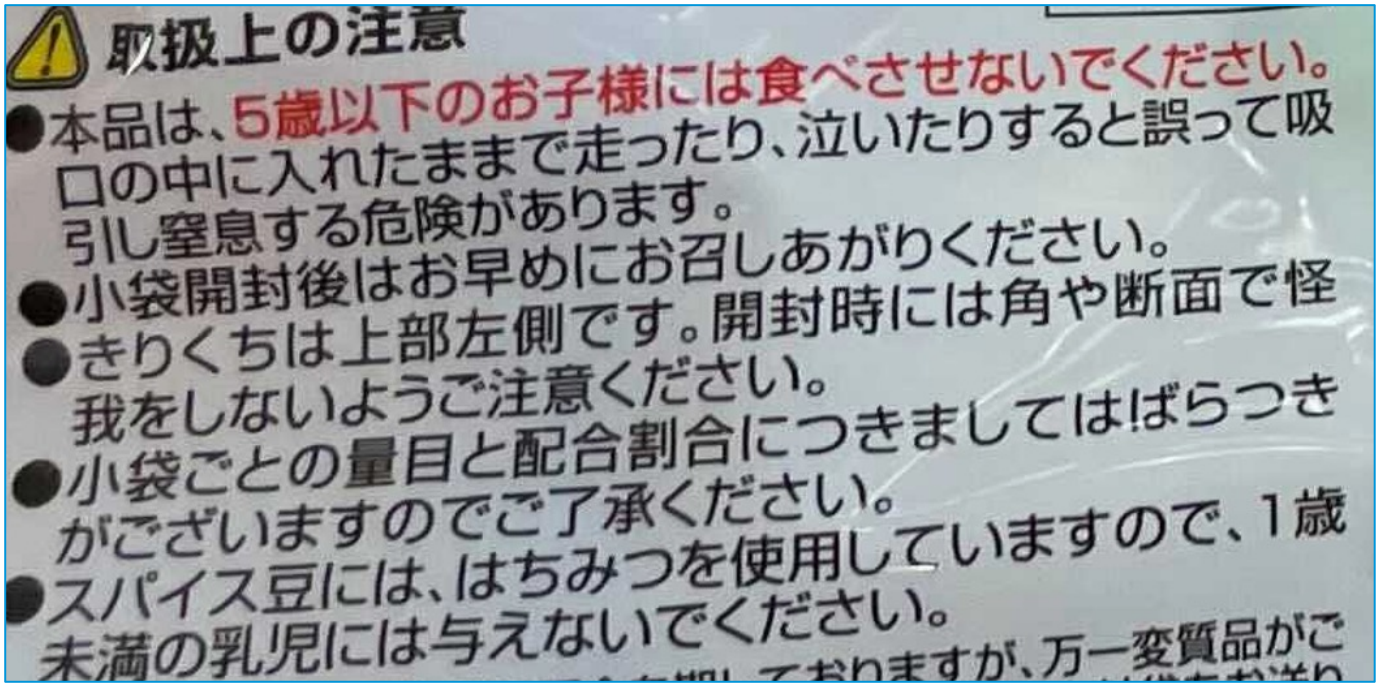
乳幼児が、節分で使用する「福豆」やピーナッツなど乾燥した豆類によって誤嚥する可能性があることは、消費者庁の「子ども安全メール」（No. 274, 325, 386, 437, 487）等でも度々発信され、保育士を対象とした研修等でも繰り返し指導されています。保育施設等では豆の代わりに新聞紙を丸めたものを豆に見立てる、一般家庭では豆が入った小袋を撒く豆まきをするといった工夫がされ、乳幼児には豆に代わる食品（ボーロなど）を食べさせるケースも増えてきています。しかし今回、保育施設であっても豆類の危険を認識しておらず、結果として死亡という取り返しのつかない事態を招いてしまったことから、従来の啓発中心の予防策では不十分であることが明確になりました。

「はちみつ」にはボツリヌス菌が混入していることがあり、これを食べると乳児の腸内でボツリヌス菌が毒素を産出し、呼吸が止まって死亡することがあります。このため、乳児には、はちみつを食べさせないよう指導されており、さらに、はちみつの容器包装には「1 歳未満の

2020年4月

Safe Kids Japanと子どもの事故予防地方議員連盟から、日本ピーナッツ協会宛に要望書を送付。

その他目的を達成するために必要な事業
国内連携活動ー企業との協働（株式会社でん六）

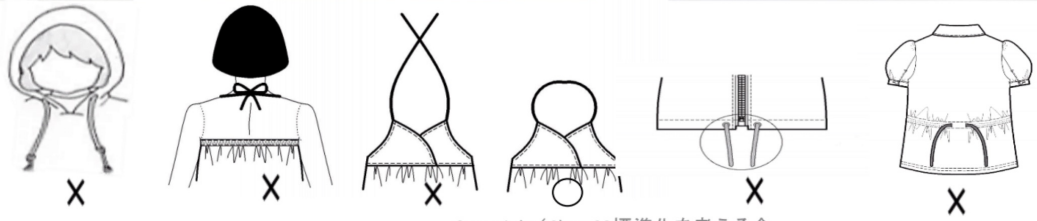


2021年1月に消費者庁から「5歳以下の子どもには食べさせないで」というメッセージが出されたので、会社としてすぐに対応。対象となる商品には、「5歳以下のお子様には食べさせないでください。口の中に入れたままで走ったり、泣いたりすると誤って吸引し窒息する危険があります。」と表記を修正した。

その他目的を達成するために必要な事業
国内連携活動ー他団体との協働（NACS 標準化を考える会）

＜参考＞

JIS L 4129（よいふく）啓発パンフレット
～高校生がイラストを作成（2015年制定公示）



14

Copyright(C)NACS標準化を考える会

その他目的を達成するために必要な事業
国内連携活動ー製品説明会

幼稚園バス向け保護ベルト紹介

賛助会員、プロジェクト・パートナー

SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

賛助会員

森ビル株式会社
https://www.mori.co.jp

株式会社乃村工藝社
https://www.nomurakougei.co.jp

株式会社ジャクエツ
https://www.jakuets.co.jp

YKK AP株式会社
https://www.ykkap.co.jp

メテオAPAC株式会社
https://www.meteorapac.jp/carcare/smartkidsbelt/

抱っこひも安全協議会
https://dakkohimo.jp

医療社団法人 恒和会
https://byoinnavi.jp/clinic/83161

プロジェクト・パートナー

株式会社ルイ髙
http://www.rui-taka.co.jp

徳島双輪株式会社
https://tokushimasourin.com

社会福祉法人さくらんぼ福祉会
https://www.kyo-cherry.net

株式会社リヴ
https://liv-r.co.jp